

研修名 ICT施工および災害対応における最新技術の活用事例

◆ 研修区分	専門
◆ 対象者	県職員・市町村職員・建設業・建設コンサルタント
◆ 定員	80名
◆ 開催日	2022年11月29日(火)

目的 ICTの導入が急速に進む国土交通省の将来の動向を見据え、コンクリート構造物や河川構造物等について、維持管理段階におけるCIMモデルに最新計測技術を適用したデータの保管や、活用手法の紹介を通して理解を深める。

会場 Web開催

受講料 2,000円

この研修は土木学会継続教育(CPD)認定プログラムです。

単位数:単位



◇11月29日(火)

9:00 ~ 9:20		受付(順次入室許可)	
9:20 ~ 9:30	10	オリエンテーション	企画調査部調査研修課
9:30 ~ 10:40	70	・建設DXとは? ・i-Con概要(基準・要領の改訂を含む) ・ドローン・MMS他を適用したi-Con事例紹介	株式会社 建設経営サービス
10:40 ~ 10:50	10	休憩	
10:50 ~ 12:00	70	・ICT施工(MC/MG)の概要説明と事例紹介	株式会社 建設経営サービス
12:00 ~ 13:00	10	昼食・休憩	
13:00 ~ 14:10	70	・山岳トンネルCIMの適用事例 ・MMS他の計測事例 ・4次元CIM(3時限モデル+工程データ) ・国土交通省(BIM/CIM)のシステム化の方向性	株式会社 建設経営サービス
14:10 ~ 14:20	10	休憩	
14:20 ~ 15:30	70	・新しい計測技術の現場適用の紹介 ・河川・港湾構造物の維持管理のためのMMS及びグリーンレーザ他の活用事例 ・ドローンによる高架橋ひび割れ計測事例 ・SAR衛星を用いた地表面変位計測技術 ・最新の計測技術を用いた近年の災害対応(台風、大雨、地震等の災害対応)	株式会社 建設経営サービス
15:30 ~ 15:40	10	修了手続き	企画調査部調査研修課

◎ 講義に必要なもの

◎ 備考

この研修について確認や質問等がある場合は、企画調査部調査研修課まで電子メールをお送りください。

(E-mail:kensyuu@niigata-ctc.or.jp)